

検査受託中止のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、骨塩定量検査C×D法の受託を中止させていただきたく、ご案内申し上げます。それに伴いまして、下記検査方法の受託を開始させていただきます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■最終受付日 2019年 7月 31日（水）ご依頼分をもって受託中止

■検査受託中止項目

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	中止理由
41	3956 9Z512	骨塩定量検査(CXD法)	測定機器の老朽化のため

■実施日 2019年 8月 1日（木）ご依頼分より

■代替項目

検査項目名	骨塩定量検査
項目コード	3959
検査方法	DIP法
保険点数	140点
測定部位	左手 第二中手骨(フィルムもしくはCD-R)
標準アルミ	アルミスロープまたはアルミステップ
基準範囲	DIP法用基準値(裏面参照)
報告日数	2~3日
備考	左手での検査となります。年齢、性別を明記して下さい。

*検査報告書様式が変更となります(別紙参照)。

- ・フィルムでご依頼頂く場合は、必ずフィルムにバーコードラベルを貼付してください。
- ・CD-Rでご依頼頂く場合は、CD-Rのレーベル面に直接ラベルを貼付せずにCD-Rケースにバーコードラベルを貼付してください。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

■骨塩定量検査(DIP法) 第二中手骨骨密度基準値

【女性】

年代	m-BMD(mmAI)		
	平均値	平均値-1SD	平均値+1SD
20 ~ 24	2.788	2.548	3.028
25 ~ 29	2.854	2.612	3.096
30 ~ 34	2.877	2.636	3.118
35 ~ 39	2.880	2.633	3.127
40 ~ 44	2.867	2.617	3.117
45 ~ 49	2.835	2.577	3.093
50 ~ 54	2.705	2.416	2.994
55 ~ 59	2.502	2.208	2.796
60 ~ 64	2.375	2.087	2.663
65 ~ 69	2.272	1.986	2.558
70 ~ 74	2.172	1.883	2.461
75 ~ 79	2.073	1.763	2.383
80 ~ 84	1.975	1.696	2.254
85 ~	1.847	1.594	2.100

骨密度(YAM±SD) 2.864±0.247	YAMの80%に相当する骨密度 2.291	骨粗鬆症のカットオフ値 2.005
----------------------------	--------------------------	----------------------

【男性】

年代	m-BMD(mmAI)		
	平均値	平均値-1SD	平均値+1SD
20 ~ 24	2.907	2.614	3.200
25 ~ 29	2.932	2.659	3.205
30 ~ 34	3.010	2.731	3.289
35 ~ 39	3.047	2.758	3.336
40 ~ 44	2.997	2.697	3.297
45 ~ 49	2.952	2.648	3.256
50 ~ 54	2.960	2.669	3.251
55 ~ 59	2.931	2.620	3.242
60 ~ 64	2.939	2.628	3.250
65 ~ 69	2.884	2.535	3.233
70 ~ 74	2.836	2.510	3.162
75 ~ 79	2.774	2.398	3.150
80 ~ 84	2.796	2.434	3.158

骨密度(YAM±SD) 2.984±0.294	YAMの80%に相当する骨密度 2.387	骨粗鬆症のカットオフ値 2.089
----------------------------	--------------------------	----------------------

原発性骨粗鬆症の診断基準(2012年度改訂版)より

■報告書様式

報告書サイズは視認性向上のためB4サイズへ拡大変更しております。

過去履歴が最大5回、数値及びグラフにて表記されます。

【表面】

骨密度検査 (DIP法) 検査成績報告書

検査日	検査時間	検査場所
検査機	検査部位	検査者
検査時間	検査時間	検査時間

検査項目	測定値	単位	基準値
m-BMD			
YAM			
若年成人平均(YAM70%)			
同性若年平均値			

現在の結果

履歴グラフ

測定年月日	測定値	単位	基準値
m-BMD			
若年成人平均(YAM70%)			
同性若年平均値			

◆次回 年 月頃の検査をおすすめします。

○DIP法は男性、女性ともに20～44歳の若年成人平均(YAM)を基準値として計算してあります。

検査項目	内	単
m-BMD	中子骨密度のアルミニウム調整値(mmA)	
若年成人平均値	若年成人平均(YAM)を100%とした際の割合	
同性若年平均値	同性若年成人平均値を100%とした際の割合	

○参考文献: 原田昭彦 et al. Jap. J. Geriatr. 54(1):15-21(2013) 「高齢化率増加期の健康増進-2012年度版」

骨密度検査 (DIP法) 検査成績報告書

検査日	検査時間	検査場所
検査機	検査部位	検査者
検査時間	検査時間	検査時間

検査項目	測定値	単位	基準値
骨質			
若年成人平均(YAM70%)			
同性若年平均値			

現在の結果

履歴グラフ

測定年月日	測定値	単位	基準値
骨質			
若年成人平均(YAM70%)			
同性若年平均値			

◆次回 年 月頃の検査をおすすめします。

○DIP法は男性、女性ともに20～44歳の若年成人平均(YAM)を基準値として計算してあります。

検査項目	内	単
骨質	中子骨密度のアルミニウム調整値(mmA)	
若年成人平均値	若年成人平均(YAM)を100%とした際の割合	
同性若年平均値	同性若年成人平均値を100%とした際の割合	

○参考文献: 原田昭彦 et al. Jap. J. Geriatr. 54(1):15-21(2013) 「高齢化率増加期の健康増進-2012年度版」

【裏面】

骨粗鬆症と日常生活

食事療法

- カルシウム摂取を促す、ビタミンDやタンパク質を十分とりましょう。
- カルシウムは、牛乳・乳製品・小魚・海藻・海藻に多く含まれています。

運動療法

- 運動は骨に刺激を与え、血行をよくして骨を丈夫にします。毎日無理のない範囲で、出来るだけ体を動かすことが大切です。

日光浴

- ビタミンDは骨を健康に保つ大切な成分です。このビタミンは、食物に含まれるだけでなく、日光浴をすることで体内で作られます。適度な日光浴をしましょう。

DIP法による第二中手骨密度基準値

年代	例数	平均値	標準偏差	平均値+1SD	%change
20～24	2,252	2,738	2,528	3,174	87.2
25～29	3,152	2,854	2,612	3,308	88.7
30～34	3,633	2,877	2,590	3,118	100.0
35～39	7,132	2,880	2,533	3,127	100.8
40～44	7,263	2,867	2,617	3,117	100.1
45～49	8,133	2,859	2,577	3,193	99.1
50～54	8,382	2,706	2,416	2,984	84.2
55～59	8,180	2,507	2,218	2,798	87.2
60～64	7,337	2,376	2,087	2,683	82.9
65～69	5,854	2,172	1,888	2,598	78.0
70～74	2,938	2,122	1,853	2,381	78.8
75～79	952	2,073	1,783	2,383	72.2
80～84	223	1,876	1,688	2,294	68.0
85～	43	1,847	1,654	2,100	64.6

女性 cut off値	骨密度(YAM=50) 2,634±0,247	YAMの80%に相当する骨密度値 2,101	骨粗鬆症のカットオフ値 2,036
-------------	----------------------------	---------------------------	----------------------

年代	例数	平均値	標準偏差	平均値+1SD	%change
20～24	156	2,817	2,514	3,230	87.2
25～29	336	2,832	2,558	3,206	88.3
30～34	250	3,010	2,731	3,288	100.0
35～39	385	3,047	2,758	3,336	102.1
40～44	317	2,837	2,627	3,287	100.0
45～49	385	2,852	2,568	3,298	99.9
50～54	829	2,600	2,368	3,251	88.2
55～59	706	2,351	2,080	3,042	88.0
60～64	621	2,239	2,028	3,090	88.0
65～69	562	2,086	1,839	3,038	83.0
70～74	336	2,036	1,810	3,182	86.0
75～79	171	2,172	1,938	3,150	83.0
80～84	56	2,150	1,834	3,158	83.7

男性 cut off値	骨密度(YAM=50) 2,634±0,247	YAMの80%に相当する骨密度値 2,101	骨粗鬆症のカットオフ値 2,036
-------------	----------------------------	---------------------------	----------------------

原発性骨粗鬆症の診断基準(2012年度改訂版)

任意で少なくとも骨粗鬆症以外の疾患または原発性骨粗鬆症を認めず、骨密度の結果が下記の条件を満たす場合、原発性骨粗鬆症と診断する。

I. 原発性骨粗鬆症
1. 骨密度がTスコアまたはZスコア基準値より
2. その他の原因性骨粗鬆症が認められず、骨密度がYAMの80%未満
II. 原因性骨粗鬆症なし
骨密度がYAMの70%以下またはZスコア基準値以下

注1) 疑難症例については、骨粗鬆症以外の疾患、疑難症例については、立った姿勢からの転倒、それ以外の外傷を伴った転倒、骨折性骨粗鬆症のうち、3分以内は急性性であることに基づいて、骨粗鬆症の診断から骨粗鬆症 X 線像を要する場合があります。

注2) その他の原因性骨粗鬆症：疑難症例以外に、骨粗鬆症以外の原因性骨粗鬆症、骨折部位は肋骨、骨盤（恥骨、坐骨、仙骨を含む）、上腕骨近位部、鎖骨近位部、下腿骨。

注3) 骨密度は原則として、腰椎または大腿骨近位部骨密度とする。また、骨密度が測定した場合には、より高い%値またはSD値を採用することとする。骨粗鬆症の診断は、1.1～1.4または1.2～1.4を基準とする。ただし、骨粗鬆症の診断に、骨粗鬆症などのために、骨粗鬆症の診断が困難な場合は、大腿骨近位部骨密度とする。大腿骨近位部骨密度は、骨粗鬆症または total hip bone mineral density (TBD) を用いる。これらの測定が困難な場合には、骨粗鬆症、第二中手骨の骨密度とするが、この場合は%のみ使用する。